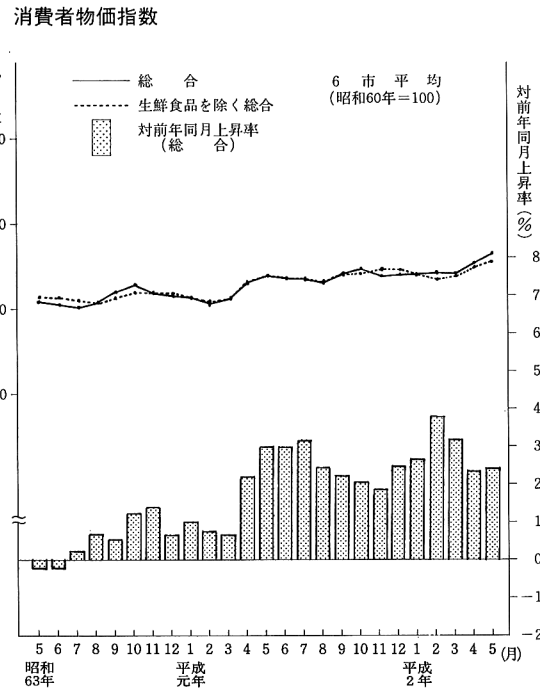
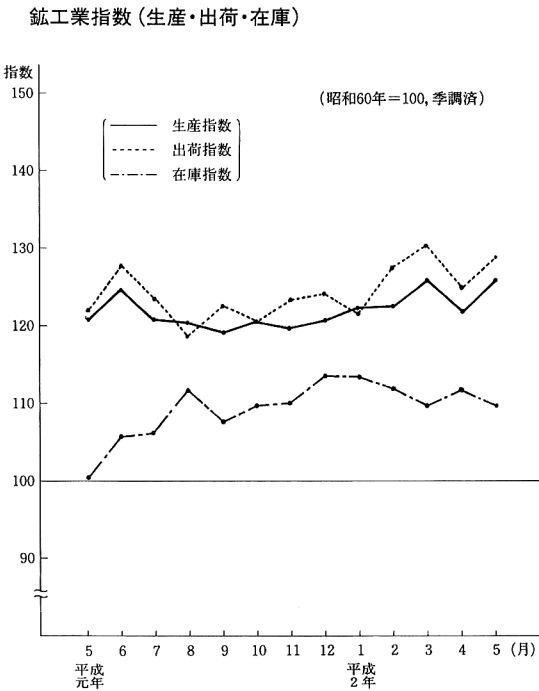
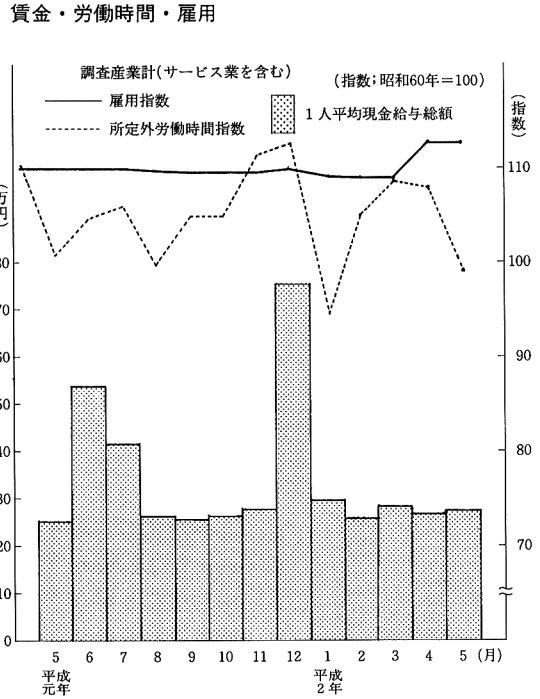
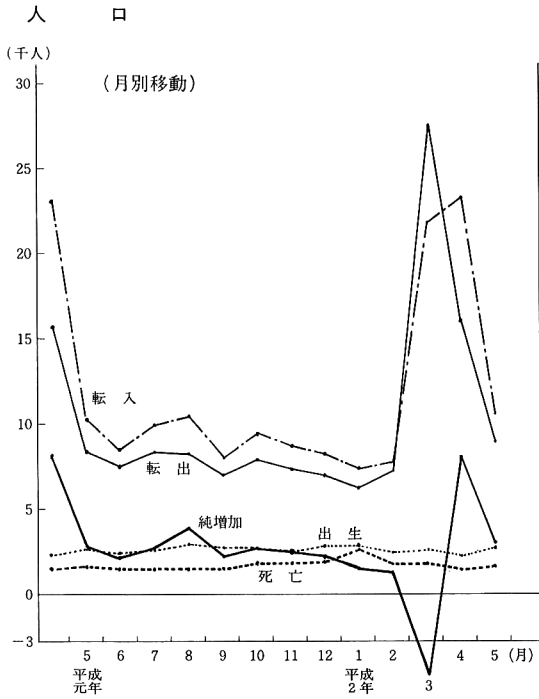


● 今月の主な動き

# 今月の主な動き



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (6月1日)

本県の人口は、5月中に2,744人増加し、6月1日現在で2,841,407人(男1,416,777人、女1,424,630人)となった。

内訳は、自然動態で997人(出生2,649人、死亡1,652人)増加し、社会動態で1,747人(転入10,419人、転出8,672人)増加した。対前年同月と比べると25,671人(0.91%)の増加

である。

市町村別では、増加が14市48町村、減少が4市18町村、増減なしが4市町村である。

世帯数についても5月中に2,323世帯増加し827,612世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (5月)

1. 平均賃金の推移

5月の現金給与総額は、調査産業計で272,743円、前年同月比5.2%増(前月は3.0%増)であった。このうちきまって支給する給与は262,753円、前年同月比3.8%増(前月は3.5%増)であった。また、きまって支給する給与のうち、所定内給与は233,428円で、前年同月比4.3%増(前月は3.8%増)であり、超過労働給与は29,325円で、前年同月比0.1%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は前年同月比2.8%増であった。

2. 労働時間

5月の総実労働時間は、調査産業計で162.2時間、前年同月比2.6%減(前月は2.0%減)であった。このうち所定内労働時間は144.6時間で、前年同月比2.6%減(前月は1.8%減)であった。また、所定外労働時間は17.6時間、前年同月比2.2%減(前月は3.0%減)であった。

3. 雇用の動き

5月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると前年同月比1.4%増(前月は1.4%増)であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉(5月分)

本県における平成2年5月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が126.2、出荷が128.8、在庫が109.7で、前月比は、生産が3.4%の上昇、出荷が2.9%の上昇、在庫が△1.7%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が4.8%の上昇、出荷が5.7%の上昇、在庫が9.1%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、化学工業、食料品・たばこ工業、非鉄金属工業等が上昇し、鉱業、石油・石炭製品工業、輸送機械工業等が低下した。出荷では、金属製

品工業、化学工業、非鉄金属工業等が上昇し、鉱業、輸送機械工業、その他工業等が低下した。在庫では、精密機械工業、電気機械工業、化学工業等が上昇し、輸送機械工業、石油・石炭製品工業、鉱業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、非耐久消費財、鉱工業用生産財等が上昇し、耐久消費財、その他用生産財が低下した。出荷では、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、耐久消費財が低下した。在庫では、耐久消費財が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数(5月)

平成2年5月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で106.5(昭和60年=100)となり、前月比0.9%の上昇、前年同月比2.6%の上昇となった。

今月上がった主な項目……果物15.1%、魚介類4.3%、衣料3.4%、シャツ・下着2.9%

今月下がった主な項目……乳卵類△1.3%、飲料△1.1%

生鮮食品を除く総合は105.7となり、前月比0.4%の上昇、前年同月比1.9%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	106.5	0.9	2.6	保健医療	105.6	0.0	0.0
食 料	106.1	1.4	3.1	交通通信	102.6	0.0	1.3
住 居	115.4	0.2	3.9	教 育	124.5	0.2	6.6
光熱・水道	89.3	0.8	2.4	教養娯楽	110.0	0.8	2.6
家具・家事用品	100.2	0.1	△0.6	諸 雑 費	106.0	0.1	1.2
被服及び履物	111.6	2.3	3.6	生鮮食品を除く総合	105.7	0.4	1.9